

特集：新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて

巻頭言

早いもので今期も残り3カ月となり、経営計画を作成する時期となりました。来期は60期と云うこともあり、新たな中期5か年計画を立てようと考えています。新たな5か年計画は、がむしゃらに会社の社員数や売上の規模を追った計画を作るつもりです。当然今までの計画も売上目標を設定し、その達成を目的に作成していましたが、今回は今まで以上に意欲的なものとする予定です。と云いますのも、この仕事に就いて以来（来年で30年になります）私が思っている二つの理想の会社体制があり、今までは現実と理想のギャップは大きいと感じていましたが、もう少し頑張れば実現できるところまで来ていると実感しているからです。

まず一つ目の理想が、この仕事は生き物を相手にし、お客様の突然のお困りごとに対応することが仕事です。である以上365日対応が理想の営業スタイルであり、お客様のご要望にお応えする最善の形であると思っています。今までの規模では営業・技術・事務どの職種も、その対応を取ろうとすれば無理が生じ、逆にサービスの質が落ちるだけでなく、社員の皆さんの不満も大きくなり通常業務にも影響が出兼ねない状況でした。しかしこの3年のコロナ禍を経験した今なら、もう少し規模を拡大すれば、先ず本社と検査室を先行させて対応し、準備が出来次第、順次全社に拡大していくなどの対応が出来るのではないかと感じています。

そして二つ目の理想が、20歳代30歳代で入社した若者が、本人が望まれるなら、将来に夢を持ち定年までしっかり働き続けられる会社体制を作ることです。（当然、それ以上の世代の方々も、です。）この理想の達成には、まだもう少しの努力が必要だと感じていますが、決して不可能ではなく、これからの5か年計画をどん欲に追求し、あるレベルまで到達すれば、それは可能です。売上と社員数の規模を拡大し、実力による収入部分と年功序列による収入部分を適正にミックスしたシステムを作ることで、継続的な収入の拡大と良好な世代循環が出来る体制は絶対構築できると感じています。

まだまだ先は長いですが、今までは山頂が雲で覆われ残りの距離すら分からない状態でありましたが、今ははっきりと山頂が望め、そのルートもはっきりと見えています。60期からの5か年計画で、この理想に到達したいと思っています。

(雅)

新型コロナとインフルエンザの同時流行に備えて

新型コロナの流行が始まって以降、インフルエンザの流行は低調でしたが、ここ2年流行がなかったことで、免疫を獲得している人の割合が少なく、さらに水際対策が大幅に緩和されて海外からの旅行者が増える中、今年には流行が広がることが懸念されています。また、新型コロナも11月から増加傾向にあることから、新型コロナ第8波とインフルエンザの流行が冬に同時にくる可能性が高いと考えられています。そこで今回のエムテックインフォメーションでは、新型コロナとインフルエンザの同時流行への備えについてご紹介します。

新型コロナ、インフルエンザ感染への備え

① **ワクチン** ワクチン接種により、感染予防効果、発症予防効果、重症化予防効果があります。

● 現在接種可能な新型コロナワクチンについて

年齢	初回接種（1・2回目）	3回目
6ヶ月～4歳	ファイザー(6ヶ月～4歳用) (3回セット)	
5～11歳	ファイザー(5～11歳用)	ファイザー(5～11歳用)
12～17歳	ファイザー、モデルナ、武田 (年内で供給終了)	ファイザー(2価)
18歳以上	ファイザー、モデルナ、武田 (年内で供給終了)	ファイザー(2価)、モデルナ(2価)

12歳以上については、初回接種は従来型ワクチン、3回目は2価ワクチン（オミクロン株対応）を接種することとされていますが、以下の点に注意が必要です。

※初回接種に使用する**従来型ワクチン**は**年内で国からの供給が終了する予定**です。

※**2価ワクチン（オミクロン株対応）**は**初回接種が完了しないと接種できません**。

（現状では追加接種としてののみ、有効性・安全性が確認されているため）

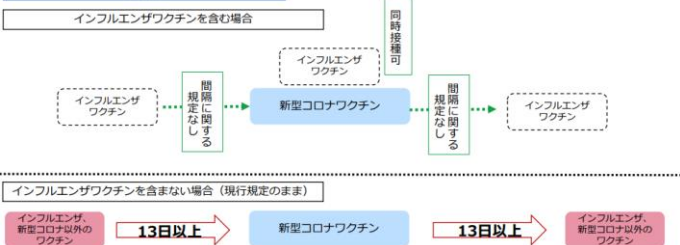
年内に初回接種を完了しないと、今後ワクチン接種ができない可能性もあります。

● 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの同時接種について

当初の規定



変更後



当初、新型コロナワクチンと他のワクチンは13日以上接種間隔をあけることになっていました。

↓しかし

新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンについては同時接種しても有効性及び安全性に問題ないとの報告があることなどから、**同時接種が可能**になりました。

※インフルエンザ以外のワクチンは現状では新型コロナワクチンと同時接種はできません。

② **体調不良時に備えて用意しておくべきもの**

重症化リスクが低い方はのどの痛みや発熱などの症状が出た際に、まず検査キットで自分で検査するよう求められており、急な高熱で外出等ができなくなる可能性もありますので、検査キットと解熱鎮痛薬は先に準備しておきましょう。

・新型コロナ抗原定性検査キット



国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



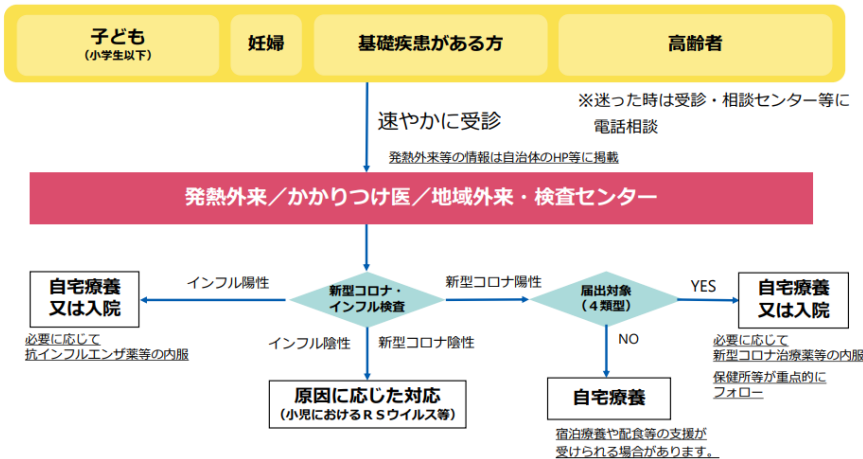
・解熱鎮痛薬

様々な種類があり、効き方や副作用などいろいろな違いがあります。ドラッグストア等の薬剤師・登録販売者に相談して購入するようにしましょう。

喉の痛みや発熱などの症状が出たら・・・

新型コロナ第7波の際に医療が逼迫することがありましたが、その原因のひとつは、重症化リスクが低い人も熱が出て不安だからと病院へ行き、発熱外来に人が殺到してしまったことでした。そのため厚生労働省では、一人ひとりの重症化リスク等に応じた外来受診への協力を呼びかけていますので、次のフローに従って医療機関等に相談して下さい。

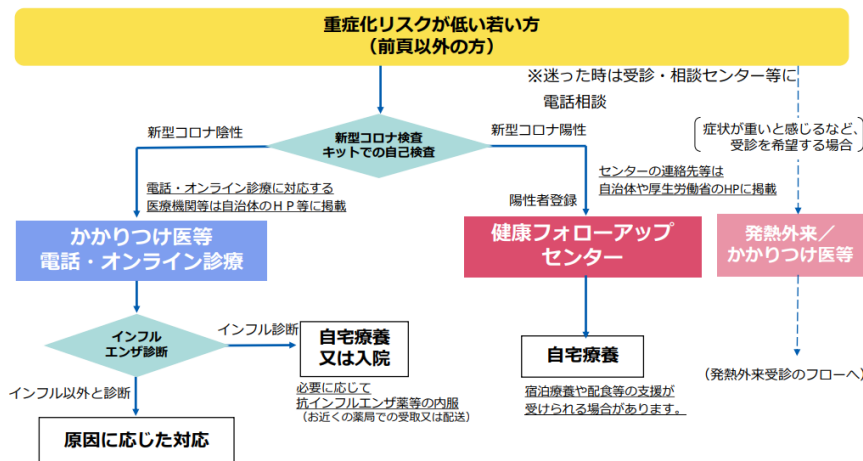
●重症化リスクが高い方（妊婦、基礎疾患がある方、高齢者）と子ども



喉の痛みや発熱など症状が出たら・・・
速やかに発熱外来を受診して下さい。

※子どもの場合、症状は年齢により様々です。機嫌がよく、辛そうでなければ、慌てずに様子を見たり、かかりつけ医にご相談下さい。

●重症化リスクが低い方（上記以外の方）



喉の痛みや発熱など症状が出たら・・・
まずは自分で新型コロナ抗原定性検査キットで検査して下さい。

↓
陽性の場合、健康フォローアップセンターに陽性者登録し、自宅療養して下さい。

※新型コロナ陽性だった場合

症状がある方、ない方、それぞれ下記のように自宅療養を行います。

		0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目
自宅療養者 宿泊施設療養者	症状のある方	発症日	不要不急の外出自粛 (発症日を0日目として7日間)							療養解除	検温など自主的な感染予防行動の徹底		
	症状のない方	検体採取日	不要不急の外出自粛 (検体採取日を0日目として7日間)							療養解除			
			不要不急の外出自粛		抗原検査キット 陰性		療養解除	検温など自主的な感染予防行動の徹底					

※インフルエンザ陽性だった場合

新型コロナのように自宅療養期間は厳密には決まっていますが、インフルエンザ発症前日から発症後3～7日間は鼻やのどからウイルスを排出するといわれ、その期間は外出を控えることが望ましいです。ちなみに子どもの場合、学校保健安全法では「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあつては、3日）を経過するまで」をインフルエンザによる出席停止期間としています。

害虫獣紹介

ヤンバルトサカヤスデ

ヤスデ類は、春頃だけでなく、秋頃にも大量発生します。その一種のヤンバルトサカヤスデは徐々に分布域を拡大させています。今回はこの昆虫について紹介します。

生態

台湾から沖縄に侵入した外来種で、沖縄をはじめ、本州の神奈川県や静岡県でも確認されています。体色は褐色で、淡褐色と濃褐色の縞模様をもち、成虫の体長は約3cm前後にまで成長します。

湿度の高い草地や腐葉土、道端の側溝など日当たりが悪く湿った場所を好みます。日射を避けるため夜間に行動します。繁殖期は10～11月で交尾後は約1ヵ月で産卵をします。降雨後の湿度の高い夜に集団移動する習性を持っており、幼虫は4～7月、成虫は10～11月の年2回に大移動をします。

被害

人体や農作物等に対し積極的に害を及ぼすことはありませんが、大量発生して不快感を与える不快害虫です。家屋周辺を多数が徘徊のほか、屋内に侵入してることがあります。刺激を与えると、青酸を含む悪臭を持つガスを分泌し、そのガスを大量に吸うと頭痛や下痢、吐き気を催すことがあります。

対策

建物を囲むように粉剤または粒剤を帯状に散布することで、侵入を予防する施工が効果的です。発生場所が特定される場合は、液剤の直接散布で駆除できます。発生場所が不特定・広範囲になると液剤のみでの駆除は困難となるため、侵入対策が重要となります。

また、予防対策としては、生息できる環境を減らすことが重要です。幼虫は乾燥に弱いため、幼虫の発生時期に合わせて草木の手入れなどによる乾燥した環境を作ることが効果的です。



写真 ヤンバルトサカヤスデ
Chamberlinius hualienensis

食中毒情報

今月は、件数、患者数ともにカンピロバクターを原因とした食中毒が最も多く発生していました。先月の食中毒情報でコメントした有毒キノコを原因とした食中毒も増えています。まだ紅葉狩りなどで、キノコを採取する機会が多い時期です。自分で採取したキノコや知人から譲り受けたキノコを調理して食べる場合、食用と断定できないものは口にしないようにしてください。

また、これからの季節はノロウイルスを原因とした食中毒が増えてきます。今月も、右の表の「不明・その他」の中にノロウイルスの事件が含まれていました。既に、病院では患者が多く確認されており、食中毒のリスクも高まっていることから、各自治体で注意報等が発令され始めています。ノロウイルス対策としては、アルコールによる消毒だけでは不十分のため、手洗いの重要性を改めて周知徹底して、発生予防に努めてください。

全国食中毒発生状況
(10/15～11/14 新聞発表分)

原因物質	件数	感染者数
カンピロバクター	12	79
自然毒	7	16
サルモネラ属菌	4	71
黄色ブドウ球菌	3	26
不明・その他	8	112

『ひとつ、ふたつ・・・快適環境を生み出します』

MARUMA M/TEC
株式会社 **マルマ** エムテック衛生検査所
メールアドレス：info@maruma-ec.co.jp

本 社 / 〒430-0807 浜松市中区佐藤 2 丁目 5-11
TEL : (053)464-6400 FAX : (053)465-4120
東京支店 / 〒194-0005 東京都町田市南町田 2-15-14
TEL : (042)850-6454 FAX : (042)850-6456
静岡支店 / 〒422-8046 静岡市駿河区中島 960-1
TEL : (054)202-0210 FAX : (054)202-0220

名古屋支店 / 〒496-0027 愛知県津島市津島北新開 234-2
TEL : (0567)69-4080 FAX : (0567)69-4081
大阪支店 / 〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田 3-5-6
TEL : (06)6475-6550 FAX : (06)6475-6567